

「JPNICの理念」に基づく 戦略的取り組みの検討状況

JPNICの理念

JPNICは、豊かで安定したインターネット社会の実現をめざし、公正・公平・中立、責任と信頼、連携と協力、チャレンジ精神の考え方に基づき、インターネット基盤の健全な運用を支えるとともに社会的な諸課題の克服に貢献する活動を行います



理念実現に向けた5つの検討課題

- 会員の皆さまとの取り組み
- レジストリ業務の取り組み
- 広報・普及啓発の取り組み
- 技術的・社会的課題への取り組み
- 経営体制と財務体質の強化

Q JPNICらしさとは？ Q

“情報”を強みとした活動を中心とし

グローバルな視点と責任を踏まえて

情報の収集、管理、共有、発信を行う



5つの領域の課題に関する問題意識

JPNIC会員の
皆さまとの
取り組み

会員の皆さまとのコミュニケーションを充実させ、会員の皆さまのご意見を反映させた施策を実行し、会員であることの意義、価値、メリットを感じてもらえるようにしたい

インターネットの拡がりにあわせた新たな領域の組織に対しても参画を促していきたい

レジストリ業務
の取り組み

レジストリ業務の今後の在り方、方針を見極めて、サービスの改良・改善を進めていきたい

そのためのレジストリシステムの抜本的見直しも進めていく必要がある

広報
普及啓発活動
の取り組み

インターネット運用の安定的な維持のため、インターネット基盤技術について次世代の人々や間接領域の方々にも関心や理解を拡げていきたい

同時にJPNICの活動に対しても多くの人に認知してもらえるよう取り組む必要がある

社会的課題等
への取り組み

社会基盤としてのインターネットは様々な課題に直面しつつあり、インターネットの技術的・社会的課題を認識するプロセスを構築する必要がある

技術的課題だけでなくインターネットの社会的課題にもJPNICとして何らかの対応、検討していきたい

経営体制
と
財務体制

JPNICの事業活動を適切に継続するには経営体制と財務体制の強化が必要であり、人材の獲得・育成、外部の人材との連携なども図っていきたい

中長期的な収益・費用・投資を見通した上で業務改善を進めて行く必要がある

課題検討体制（当初）

- 5つの課題毎に役職員を交えたサブグループ(SG)により検討
- 11月より月2~4回程度の会合にて検討を推進
- リーダー、サブリーダーが他のSGにも参加して情報共有

検討サブグループ(略称)	リーダー/ サブリーダー	メンバー
会員の皆さまとの取り組み(mem-sg)	根津/佐藤晋	理事監事：5名 事務局職員：2名
レジストリ業務の取り組み(reg-sg)	川端/澁谷	理事監事：4名 事務局職員：1名
広報・普及啓発の取り組み(pub-sg)	是枝/川端	理事監事：4名 事務局職員：2名
技術的・社会的課題への取り組み(issue-sg)	前村/根津	理事監事：5名 事務局職員：2名
経営体制と財務体質の強化(admin-sg)	佐藤晋/川端	理事監事：4名 事務局職員：1名

会員の皆さまとの取り組み(mem-sg)検討状況

JPNIC会員の
皆さまとの
取り組み

• 背景

「インターネットを支えるJPNIC」を形作る会員制度を実現したい

• 当面の検討目標

会員とのコミュニケーション強化、それに基づく魅力的な施策の検討と実行

• これまでの議論、検討ポイント

- 活動の目的・課題の整理
- JPNIC会員であることの価値についての議論
- 会員とのコミュニケーション強化に向けた予備調査の準備と実施

• 今後の予定

会員への予備調査結果に基づく具体的なコミュニケーションの実施

レジストリ業務の取り組み(reg-sg)検討状況

レジストリ業務
の取り組み

• 背景

インターネット基盤の健全な運用の一翼を担うJPNICのレジストリ業務を、JPNICのコアとなる事業の一つと位置付け、より盤石なものとする

• 当面の検討目標

レジストリ業務の見直しと、見直し後の業務にあわせたシステムの導入

• これまでの議論、検討ポイント

- レジストリ業務の定義とレジストリとしてあるべき姿の議論・認識共有
- IPアドレス事業を取り巻く中長期的な環境と、収支構造の整理・検討
- 今後のIP事業料金体系の考え方の整理・検討

• 今後の予定

各検討項目での具体的な対応策と実施計画の立案

広報・普及啓発の取り組み(pub-sg)検討状況

広報
普及啓発活動
の取り組み

• 背景

再設定した「JPNICの理念」に基づく各種戦略的な取り組みを進めていくにあたり、それらの活動を外部に伝えていく広報・普及啓発活動も重要となる

• 当面の検討目標

戦略的に取り組むべき活動領域と優先度を定める

• これまでの議論、検討ポイント

- 現状の広報普及啓発活動および認識済みの課題の共有・整理
- 潜在的なものも含む広報・普及啓発活動の対象となる層についての検討
- JPNICとして届けるべき情報の検討と対象別の整理

• 今後の予定

注力すべき対象の絞り込みと取り組み方を検討し実施計画を策定する

技術的・社会的課題への取り組み(issue-sg)検討状況



- **背景**

インターネット基盤・社会で発生する課題に対応する

- **当面の検討目標**

技術的、社会的課題を抽出するための体制を確立する

- **これまでの議論、検討ポイント**

- 現在の課題の洗い出し、各課題の分類、整理、分析手法の検討
- RPKIなどセキュリティ対策課題普及浸透、インターネット基盤運営機構の脆弱性を具体例に対応策を検討（一般化に向けたプロトタイピング）

- **今後の予定**

課題群の分析を進め、取り組みの体制検討・計画に結び付ける

経営体制と財務体制の強化(admin-sg)検討状況

経営体制
と
財務体制

• 背景

JPNICの将来の経営環境を見通した経営資源を維持、確保する必要がある

• 当面の検討目標

優先的検討項目毎の対応策実施計画を策定する

• これまでの議論、検討ポイント

下記を優先的検討項目として設定。それぞれの課題点と対応策について議論

- 事業推進のための人的リソース確保と活用
- 収支均衡維持に向けた収益基盤と支出管理の整備
- 事務局業務合理化のための制度、体制の見直し

• 今後の予定

人員計画の具体化、コスト削減策及び他SGと連携した収益検討、会議運営合理化策の実施等を推進

課題解決に向けた外部連携の強化

- 各課題検討に、会員、外部有識者、他団体やコミュニティ等からの意見も取り入れていきます



今後の進め方

- 2023年度中に各課題SG毎の課題解決のフローを確立
- 上記をとりまとめて、今後の事業方針案を策定
- 事業方針を踏まえた主要取り組み施策の実行

